

# 第4回 研究授業

日 時：平成28年11月9日（水） 第5校時（13:50～14:35）  
単 元：5年 国語科 「注文の多い料理店」

## 1. 授業の様子



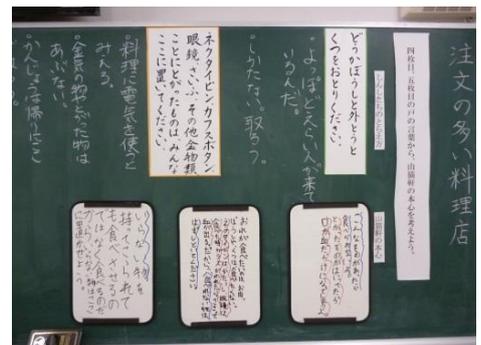
○ワークシートを使って、2人の紳士のとらえ方と山猫軒の本心とのずれを考えました。  
○ペアで交流し、自分が気づかなかったところをワークシートに付け足していました。



○ホワイト・ボードに書かれた意見を通して、みんなで考えを深めていきました。



○1枚ずつ扉がはがされていって、最後に山猫軒の正体はわかる仕組みになっていました。



## 2. 研究討議会

於；ミーティングルーム

講師：高殿南小学校長

# 清岡 延吉先生

○研究の「具体的方策」をもとにしてし、討議を進めていきました。

○ペア学習やグループでの学習について、協議を深めることができました。

研究授業 参観シート 年

月 日( ) 単元名: 授業者( 先生 )

研究主題：自分の考えや思いを豊かに表現し、交流する子どもを育てる  
— 言語活動を充実させる指導法の工夫 —

	観点	◎○△	コメント(良かった点、改善点)
基本的な指導技術	1	児童は、学習課題をしっかりとつかんでいたか	
	2	発問や指示は、目標に沿った学びを促すものになっていたか	
	3	指示物、資料等は見やすく、よくまとまっていたか	
	4	指導、支援の仕方は適切であったか	
研究の視点について	1	見通しや振り返りを重視した学習活動 ・見通しを持たせる学習活動が適切であったか ・学習を振り返る活動が適切であったか ・学習した内容がとらえやすいように板書が工夫されていたか	
	2	協働型・双方向型授業への改善 ・学び合いを深めるため、効果的に学習形態(個別・ペア・グループ・斉学習など)を工夫していたか ・一人ひとりの自己表出を大事にした、話し合い活動になっていたか	
	3	思考の可視化・操作化・構造化を図る工夫 ・ICTを効果的に取り入れ、興味関心を高める工夫があったか ・効果的なツールの活用により、思考を深める工夫があったか	
一言			

記入者( )



○講師講話表題

「対話的な学び」をどうつくるか。